

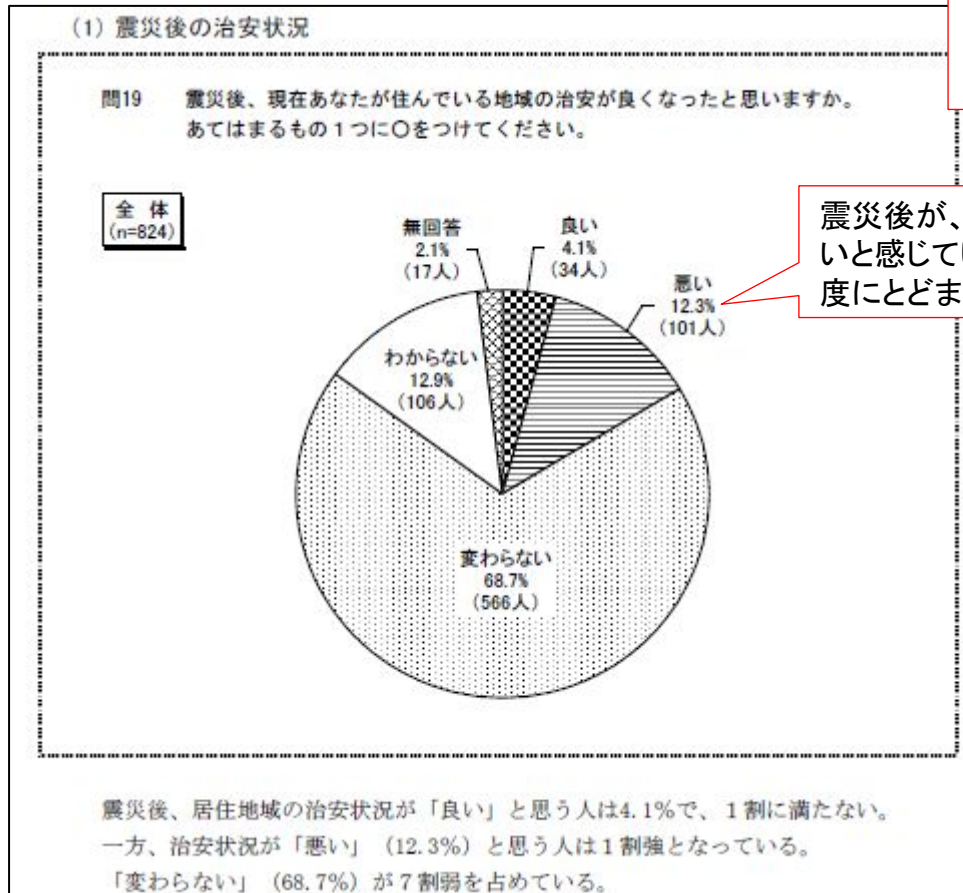
# 10. 危機管理のあり方について

・東北地方整備局では、災害直後から、災害対策室を拠点に様々な対策を迅速に実施。  
 ⇒東北地方整備局においては、震災の初動から復旧まで、様々な危機管理のマネジメントを総合的に実施した。



# 10. 危機管理のあり方について

## 震災後の治安状況(アンケート)



大震災が起きた状況下においても、列をなして自分の順番を待つなど、「日本人の秩序ある行動」が見られた

震災後が、治安状況が悪いと感じている人は1割程度にとどまっている

給水の順番を待つ様子



米の緊急販売会に並ぶ様子



出典: 福島県「福島県政世論調査結果(平成23年度)」

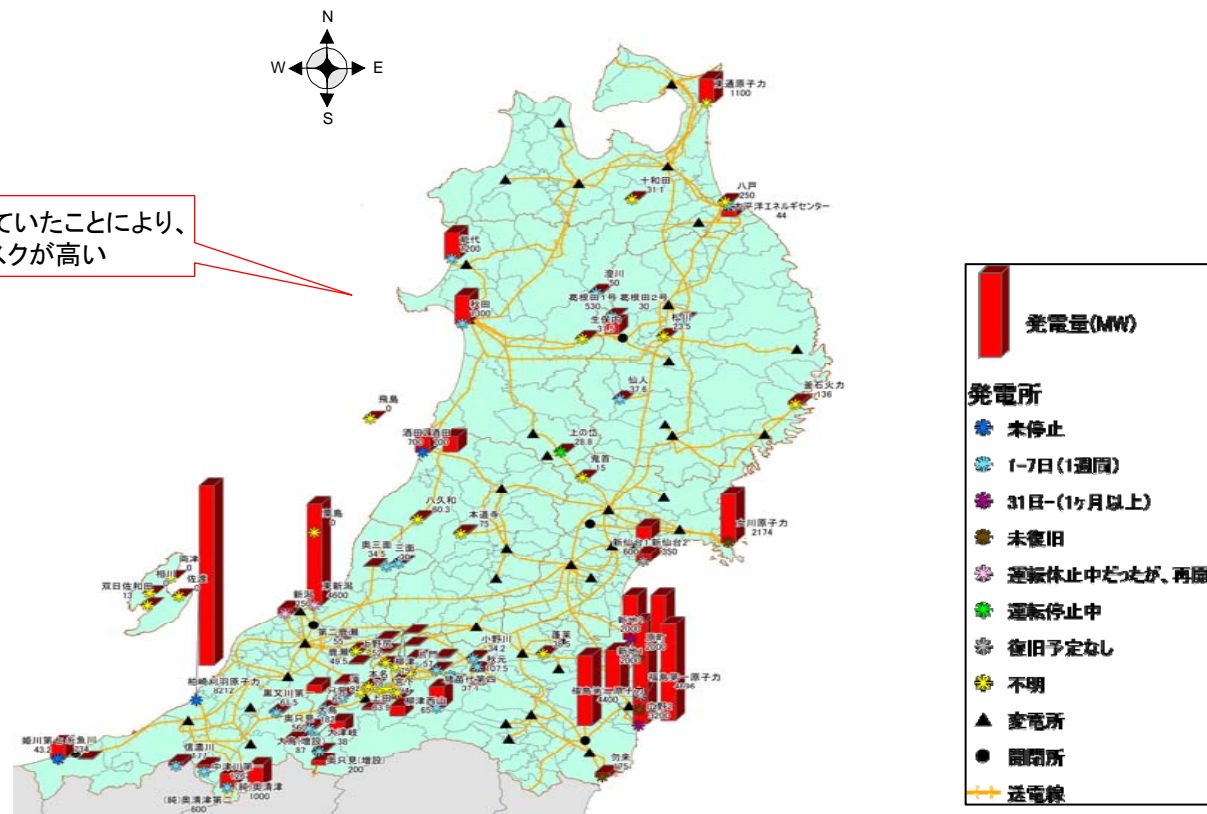
出典: 河北新報社「巨大地震が襲った 3・11大震災」

# 11. 災害に強い地域構造の構築について

- ・東日本大震災では、発電所や製油所、油槽所が沿岸部へ集積していたことから津波により被災し、長期間のエネルギーの供給不足が引き起こされた。
  - ・災害時におけるエネルギー供給のリスク軽減に向け、エネルギー供給源の分散配置、スマートグリッドの導入など自立分散的なシステムの導入が考えられる。また、こうした安定性を考慮したシステムと、効率性のバランスについても検討する必要がある。
- ⇒**効率と分散を兼ね備えた連携可能な地域構造の構築により、大規模災害に強い地域構造を構築することが必要。**
- ・**分散型の地域構造に適した東北発コンパクトシティ、スマートグリッドの必要性についても再確認することが必要。**

主要電力関連施設の被害状況

拠点が沿岸部に集積していたことにより、津波災害時におけるリスクが高い



出典：東北電力HP、東北電力プレスリリース2011年分、経済産業省資源エネルギー庁「電源開発の概要(平成22年度)」より作成

## 11. 災害に強い地域構造の構築について

- ・山地山脈で、いくつもの平野や盆地に分割された地形を有する東北圏。災害の被災状況においても、その地域毎に異なる。
- ・脊梁山脈である奥羽山脈で東西で気候が異なり再生可能エネルギーにも東北圏の地域性がある。  
⇒東北圏においては、自立分散型の再生可能エネルギーシステムの導入が容易な地域性を有している。

地産地消型エネルギーによる地域構造への誘導(イメージ図)

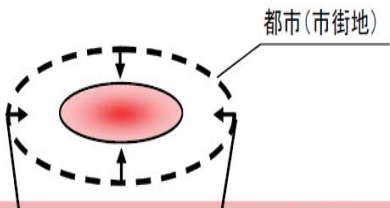
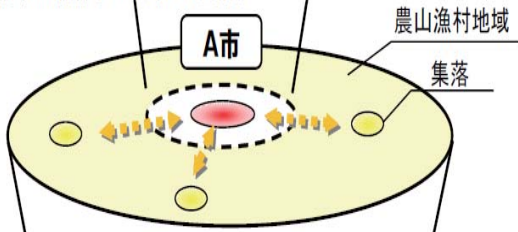
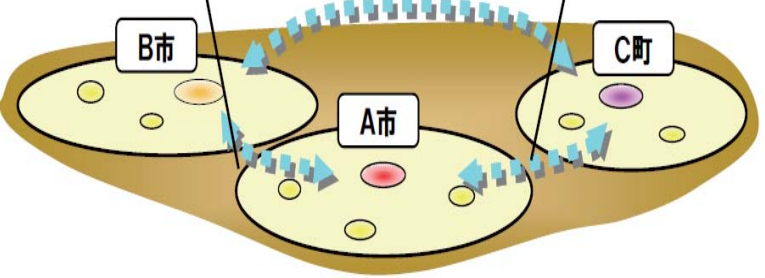


スマートグリッド(次世代送電網)、  
マイクログリッド(分散型のエネルギーシステム)を導入し、**地産地消型エネルギーによる地域構造**を構築  
⇒省エネルギー化とともに、**エネルギー拠点の分散化による災害リスクの軽減**が期待

出典:土木学会・電気学会 ICTを活用した耐災施策に関する総合調査団  
「緊急提言～ICTを活用した耐災(防災・減災)施策～」より作成(一部加筆)

# 11. 災害に強い地域構造の構築について

## 東北発コンパクトシティの防災面・復興面における有効性

「東北発コンパクトシティ」の概念	防災面・復興面における有効性
<p>基本方針 1：個々の市町村におけるコンパクトなまちづくり</p>  <p>※市町村によっては市街地が複数ある場合もあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災対策の範囲が限定化され、効率的、効果的な防災対策が可能となる。</li> <li>・拠点性が高まることにより、災害時における避難や誘導が容易となる。</li> </ul>
<p>基本方針 2：都市と農山漁村地域の連携</p>  <p>※市町村によっては農山漁村地域がない場合もあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害において被災した地区や集落の支援、代替機能の補完が容易になる。</li> <li>・自立分散型の再生可能エネルギーシステムの導入が容易になる。</li> <li>・スマートグリッドの導入も含め、災害時におけるエネルギー供給のリスクが軽減できる。</li> </ul>
<p>基本方針 3：近隣市町村間の連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模災害時における被災都市の代替機能の確保や物資支援での連携が図られる。</li> <li>・様々な広域拠点施設の分散配備が可能となり、同時被災が避けられる。</li> <li>・災害時におけるエネルギー供給面における相互補完の体制が構築できる。</li> <li>・避難者の受け入れなどにおける都市間連携が期待できる。</li> </ul>

出典：国土交通省東北地方整備局「東北発コンパクトシティのすすめ」より作成(一部加筆)